

# 2018 年度事業報告書

特定非営利活動法人 ニュースのタネ

## I 事業期間

2018 年 1 月 1 日～2018 年 12 月 31 日

## II 事業の成果

独自の調査報道の発信については、アメリカ政府が福島第一原発事故の直後から日本の各地で行っていた放射線量の計測データを分析し、首都圏でもかなり高い放射線量を計測していたことや、「トモダチ作戦」で被災地支援に参加していたアメリカ軍空母「ロナルド・レーガン」の船上でも高い放射線量が計測されていたことを明らかにした。この記事は英語に訳し、10 月に韓国で開かれたアジア調査報道会議で発表。各国のジャーナリストから問い合わせや取材を受けた。

また、普天間基地の辺野古移設に絡む調査報道で、1957 年に当時の岸信介首相がアメリカ政府に対して沖縄への配慮を求めた日米高官会議の議事録を入手して記事化。これは後に、沖縄の地元紙沖縄タイムスでも記事化されて注目された。

また、韓国と北朝鮮による南北首脳会談が行われた直後に北朝鮮に入り、平壤や板門店の状況をテレビ、ラジオ、雑誌で伝えた。

自前のウェブサイト上に 35 本の記事を出した他、編集長の立岩が様々なメディアを通じて発信した。コラムの連載は日刊ゲンダイ、幻冬舎の若者向けウェブ雑誌 GOETHE で始まり、好評を得ている。

ファクトチェックの取り組みでも、9 月の沖縄県知事選挙について実施し、常に議論となる「沖縄県にアメリカ軍専用施設の 72%が集中している」という説明について真偽を検証した。

もう 1 つの柱である「調査報道の未来を考える催し」については、7 月に早稲田大学大学院、報道ディスカッショングループ、公益財団法人政治資金センターと共催で、「」を開催。100 人が参加して質の高い議論が行われた。

(写真は早稲田大学で行った政治資金セミナー)

## III 事業の実施状況

### 1 特定非営利活動に係る事業

## 事業① 調査報道専門ウェブサイトの充実・拡大事業

(内容) 記事 35 本を掲載。

ウェブサイトの URL は <https://seedsfornews.com/>



(ニュースのタネのHP)

## 事業② 沖縄県知事選挙のプロジェクトで主導的な役割を担った。

(内容) 2018年9月30日に投票が行われた沖縄県知事選挙についてFIJ、琉球新報らとともにファクトチェックを行った。

## 事業③ 調査報道、ジャーナリズム関連のセミナーの開催事業

(内容) 政治資金をどう調査するのかを関係者が参加して議論。調査する側の研究者、ジャーナリストに加えて、政治資金を扱う政治家、政治資金を捜査する特捜部検事が一堂に会して議論する日本では初めての試みとなった。開催。大手メディアの記者、フリーのジャーナリスト、一般の市民ら 100 人が参加。

下記の通りに実施した。

(共催) 早稲田大学大学院ジャーナリズム学院

(実施場所) 早稲田大学講義室

(実施日時) 7月7日 13:30~18:00 (開場 13:00)

## 事業④ ファクトチェックを知ってもらうセミナーの開催

(内容) 欧米で盛んに行われている政治家の発言やネット上に流布された情報の真偽を検証するファクトチェックを日本で広める取り組み。大阪では単独で開催。東京では、編集長が理事を務めるFactCheck Initiative Japan (FIJ) とともに開催。

(実施場所) スマートニュース本社のイベント会場  
(実施日時) @月9日14時~16時  
(共催) FIJ

事業⑤ 大手メディアを通じたジャーナリストとしてのものの見方の紹介

(内容) 毎日放送「ちちんぷいぷい」、また毎日放送のラジオ番組への出演を通じて、編集長の立岩がジャーナリストとしての自らの体験や現在、ニュースのタネで取り組んでいる取材に基づいたものの見方を伝えることで、社会的弱者への共感や少数意見の保護といった視点の紹介。

毎日放送「ちちんぷいぷい」 毎週月~水にレギュラー出演  
毎日放送ラジオ「笑い飯哲夫の明るく元気なニュースシャワー」  
毎日放送ラジオ「報道するラジオ」  
日刊ゲンダイ「ファクトチェック・ニッポン」  
幻冬舎「GOETHE」

IV 社員総会の開催状況

第6回通常総会

(日時) @月@日 午前10時~午前10時30分

(場所) 当事務所

(社員総数) 11名 出席者数 8名(表決委任者3名)

(内容) 第一号議案 事業報告書、財産目録、貸借対照表及び活動報告書 付議の件、  
第二号議案 役員選任の件

玉本英子、鈴木祐太、野中章弘、高田昌幸の4名が満期終了で辞任し、新たに田中清士、片岡明彦、山崎秀夫、小黒純、立岩陽一郎を理事にすることを全員異議なく承認した。

全議案とも審議の結果満場一致で可決承認された。